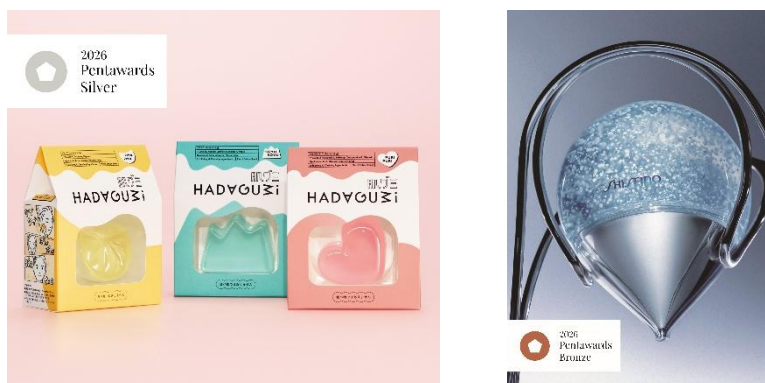


Press Release

資生堂、パッケージデザインの世界的大賞「PENTAWARDS 2026」にて 2 作品受賞 ～グミ洗顔「肌グミ」がシルバー賞、万博展示プロトタイプ「美の玉」がブロンズ賞を獲得～



株式会社資生堂（以下、資生堂）は、パッケージデザインにおける世界的なデザイン賞「PENTAWARDS 2026」において、BODY, HEALTH & BEAUTY 部門にてグミ洗顔「肌グミ」がシルバー賞を、PROFESSIONAL CONCEPTS 部門では藻類由来のスキンケア化粧品プロトタイプ「美の玉」がブロンズ賞を受賞しました。

PENTAWARDS は 2007 年にベルギーで設立され、約 20 年続くパッケージデザイン領域の海外デザイン賞です。PENTAWARDS 2026 には世界 66 の国と地域から 2,000 を超える応募があり、当該作品はその中から選定されました。

資生堂は、「ひととの繋がりの中で新しい美を探求・創造・共有し、一人ひとりの人生を豊かにする」という 2030 年ビジョンと、「一瞬も 一生も 美しく」というスローガンのもと、今後も独自の価値創造・価値伝達力を高め、新しい美の探求を続けてまいります。

受賞作品「肌グミ」について

「朝の洗顔は面倒」という生活者の声に着目し、洗顔のルーティンを義務ではなく「能動的にしたいくなる楽しみ」へと変えるために生まれた「肌グミ」。

その最大の魅力は、美容液発想の処方による新感覚のテクスチャーです。まるでグミのような「ぷるん」「ぷにっ」とした心地よい感触で肌を包み込み、触れる楽しさや使う喜びを提供します。手に馴染む小石のようなフォルムと洗練されたパッケージは、洗面空間に自然と溶け込むインテリアのような存在感。気分に合わせて選べる 3 種のラインアップで、毎日の洗顔を直感的で心はずむ体験へと導きます。

クレジット

- Product Creative Director: 山田 みどり(フリーランス)
- Product Designer: 徐 千雅
- Copywriter: 堤 瑛里子
- Project Manager: 道本 沙紀
- Photographer: 姥 貴章・大谷 麻葵
- Illustrator: Hama-House



BODY, HEALTH & BEAUTY 部門シルバー受賞作品:「肌グミ」

受賞作品「美の玉」について

「美の玉」は藻類が持つ生命力や美しさ、そして循環の価値を、形状・色・質感を通して可視化したスキンケア・ビジョンプロダクトであり、2025 年の大阪・関西万博 日本館にて展示されました。

外装の金属パーツは金属作家が一点一点手作業で曲げ加工を施し、工業生産だけでは生み出せない柔らかく洗練された曲線を実現。内部には再生樹脂を使用し、素材選定の面からも持続可能な循環型の思想を反映しています。未来社会を構想する場である大阪・関西万博での展示を前提に、プレミアム性とサステナビリティの両立を体現した「美の玉」は化粧品パッケージを単なる機能的な容器というだけではなく、自然と人との新しい関係を象徴的に表現する存在として捉えました。

クレジット

- Product Creative Director: 信藤 洋二 (NOBUTS)
- Product Art Director / Designer: 笹木 拓歩
- Photographer: 大谷 麻葵
- R&D: 資生堂グローバルイノベーションセンター ブランド価値開発研究所
- Metal sculptor: 廣瀬 周士 (sketch on)



PROFESSIONAL CONCEPTS 部門ブロンズ受賞作品:「美の玉」

関連情報・リリース

- 肌グミ 商品紹介サイト
<https://www.shiseido.co.jp/hadagumi/>
- 肌グミ 新発売プレスリリース(2025 年 8 月)
 洗うたび“ぷるちゅる”素肌へ。なでるだけで肌がキレイになる、美容液生まれの「グミ洗顔」新登場
<https://corp.shiseido.com/jp/news/detail.html?n=00000000004054>
- 美の玉 発表プレスリリース(2025 年 4 月)
 資生堂、2025 年大阪・関西万博日本館にて、藻類を活用したスキンケア化粧品のプロトタイプを初公開
<https://corp.shiseido.com/jp/news/detail.html?n=00000000003992>